

北海道大学病院に通院・入院されていた患者さんまたはご家族の方へ
(臨床研究に関する情報)

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、患者さんの診療情報を用いて行います。このような研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」(令和3年文部科学省・厚生労働省・経済産業省告示第1号)の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の問い合わせ先へご照会ください。

[研究課題名]

Enterobacter cloacae 感染症に対する抗菌薬選択の現状およびその有効性調査

[研究責任者名・所属]

菅原 満 (北海道大学大学院薬学研究院教授／北海道大学病院薬剤部長)

[研究の目的]

Enterobacter cloacae(エンテロバクター・クロアカ)は腸管内に常在する腸内細菌であり、免疫不全の患者さんにおける肺炎や尿路感染症等の原因菌となります。エンテロバクター・クロアカに対する抗菌薬としてはカルバペネム系やセファロsporin系など様々な抗菌薬が用いられていますが、各種抗菌薬使用後の治療成績について評価を行っている報告は少ないのが現状です。そこで、エンテロバクター・クロアカ感染症に対して使用されている抗菌薬選択の現状を把握し、その有効性を評価することで、適切なエンテロバクター・クロアカ感染症治療を推進することを目的としました。

[研究の方法]

○対象となる患者さん

2008年4月～2021年4月の期間において北海道大学病院に通院又は入院していた患者さんのうち、血液、喀痰、尿検体のいずれかよりエンテロバクター・クロアカが検出され、抗菌薬治療が開始された方。

○利用するカルテ情報

診療科、年齢、性別、身長・体重、診断名、現病歴・既往歴、臨床検査値(CRP(C反応性蛋白)、体温、白血球数、血清クレアチニン値等)、薬剤の投与履歴、培養結果(抗菌薬感受性結果含む)、手術歴、ICU入室歴、重症度、入院日・退院日、転帰など

[研究実施期間] 実施許可日～2023年12月31日

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる情報は削除して利用いたします。

* 上記の研究に情報を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

[連絡先・相談窓口]

〒060-8648 北海道札幌市北 14 条西 5 丁目
北海道大学病院 薬剤部 副部長 武隈 洋
電話 011-706-5754 FAX 011-706-7616